

取扱説明書のダウンロードサービスは「以下のご利用条件」にご同意頂いた上でご利用下さい。

<ご利用条件>

本サイトに掲載している取扱説明書は、代表的な墜落制止用器具の説明書を掲載しております。

よってすべての製品の取扱説明書を掲載しておりません。

また、ご購入時の製品に同梱されている取扱説明書には、その製品独自の補足的な取扱説明書を同梱している場合もあり、購入時の取扱説明書内容と異なる場合があります。

本サイトの取扱説明書は、製品に同梱されている取扱説明書の補足的情報としてご利用ください。

また、掲載している取扱説明書は最新の内容でない場合もあります。

掲載している取扱説明書以外の取扱説明書のお取り寄せ、及び、ご質問は弊社「お問合せ窓口」までご連絡下さい。

ツヨロン® 胴・作業ベルト用サスペンダー【TS-521】

いつでも活用できるよう大切に保管してください

このたびは、《胴・作業ベルト用サスペンダー》をお買い上げいただきありがとうございます。本品を正しく安全にお使いいただくために、「1. お使いいただく前に」および「2. 安全にお使いいただくために」は事故を未然に防ぐためにとても大切ですので、よくご理解のうえ、ご使用ください。

なお、本品を胴ベルトまたは作業ベルト(以下「作業ベルトなど」という)と組み合わせて正しく安全にお使いいただくため、**ご使用前に作業ベルトなどの取扱説明書を必ず併せてお読みください。**

また、ご使用の際は、「6. 点検と廃棄の基準」に従って点検を行ってください。取扱説明書を紛失された場合は弊社に請求してください。



もくじ

1. お使いいただく前に	2
2. 安全にお使いいただくために	3
3. 用途	5
4. 構造および各部のなまえ	5
5. 使い方	6
6. 点検と廃棄の基準	10
7. 交換のめやす(耐用期間)	11
8. 保管・手入れのしかた	11
9. お客様相談窓口	12

1. お使いいただく前に

■ 製品の取扱いにおける図記号

	製品の取扱いにおいて、安全を確保するための 禁止行為 を示します。
	製品の取扱いにおいて、安全を確保するために必ず 行うべき行為 を示します。
	製品の取扱いにおいて、安全を確保するための 注意喚起 を示します。

同一メーカーの作業ベルトなどと組み合わせてください

異なるメーカーや型式のものを組み合わせて使用すると、十分な強度や機能が得られない場合があります。

他の用途には使用しないでください

スリングベルトなどの資材をつり上げる用具に代用するなど、他の用途で使用しないでください。

分解・改造しないでください

分解や部品の取り外し、他の部品の組み込みなどの改造は本来の性能を十分に発揮できないことが考えられますので、絶対におやめください。

また、分解・改造した製品の性能は保証できません。

雨の日は感電にご注意ください

ベルトが雨などに濡れて水分を含むと電気が流れやすくなり、電線などに触れると感電するおそれがあります。また、電気ショートによって溶融するおそれがあります。

特殊な環境下でご使用になる場合は、巻末の「お客様相談窓口」にお問い合わせください

本品を下記のような特殊な環境下で使用すると、性能・機能が十分に確保できないおそれがあります。

- (1) 金属類に錆の発生しやすい海上や海岸地域
- (2) 摺動部の作動に悪影響を及ぼす可能性がある土砂などの付着しやすい現場
- (3) 繊維類の劣化が考えられる高温域の現場
- (4) 酸やアルカリの付着が考えられる現場
- (5) その他、金属・繊維類に悪影響を及ぼす特殊な環境下

2. 安全にお使いいただくために

■ 製品の取扱いにおける警告表示

本取扱説明書では、危害発生の頻度と程度を「危険」「警告」「注意」で示しています。



危険

取扱いを誤ると、死亡、または重傷を負う可能性が非常に高くなります。

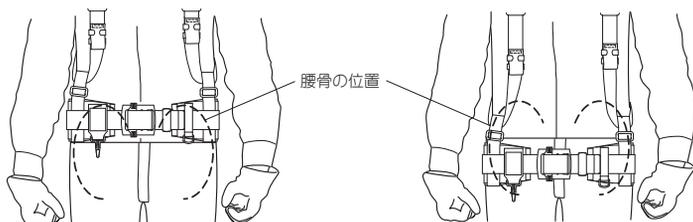
❗ 作業ベルトなどが腰骨の位置にくるように肩掛けベルトなどの長さを調節してください

本品は作業ベルトなどのずり落ち防止を目的とした補助用ベルトです。

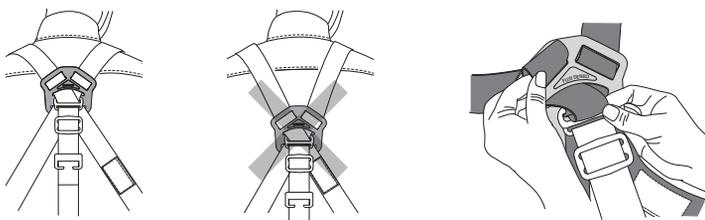
胴ベルト型墜落制止用器具に本品を取り付けて使用する場合、胴ベルトを緩く装着すると、墜落制止時に胴ベルトがずり上がり、胸部を圧迫する危険性があります。

墜落制止時の衝撃荷重は、腰骨の位置にある胴ベルトで受け止められるよう、正しく装着してください。

- 肩掛けベルトおよび背中吊りベルトの長さを調節し、作業ベルトなどは腰骨の位置に正しく装着してご使用ください。
- 本品は墜落制止時に人体の捕捉を目的としたものではありませんので、大きな荷重が加わるような使い方はしないでください。



- テープバックルを連結し、胸バンドの長さを調節した状態で、背部ベルト固定具が肩甲骨辺りに位置するように調整してください。(下図参照)



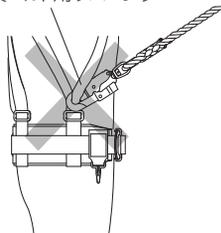
警告

取扱いを誤ると、死亡、または重傷を負う可能性があります。

⊘ ランヤードなどのフックを本品に掛けないでください

強度不足で事故につながるおそれがあります。

胴・作業ベルト用サスペンダー



⊘ 酸（バッテリー液など）・アルカリを付着させないでください

ベルトなどの合成繊維部品は、酸・アルカリで溶解してベルトなどの強度が低下します。

- 塗料などの汚れを取る場合には、強度低下をまねく溶剤は使用しないでください。

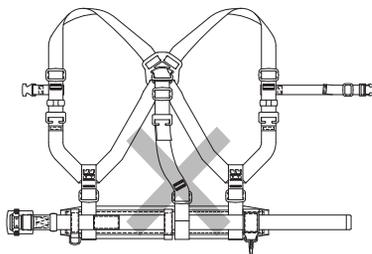
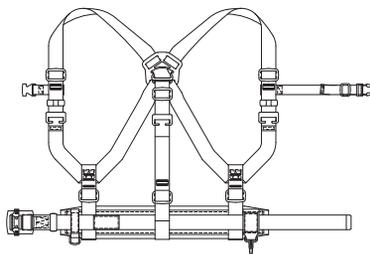
⊘ 高温部に近づけないでください

ベルトなどの合成繊維部品は、熱によって溶融して強度が低下します。

注意

取扱いを誤ると、軽傷を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

❗ 本品は吊下げ重量のバランスを考慮して作業ベルトなどに配置してください



- 左右の腰ベルトおよび背中吊りベルトはできるだけ等間隔で作業ベルトに取り付けてください。

（その他 使用上の注意事項については、作業ベルトなどの取扱説明書をご参照ください。）

3. 用 途

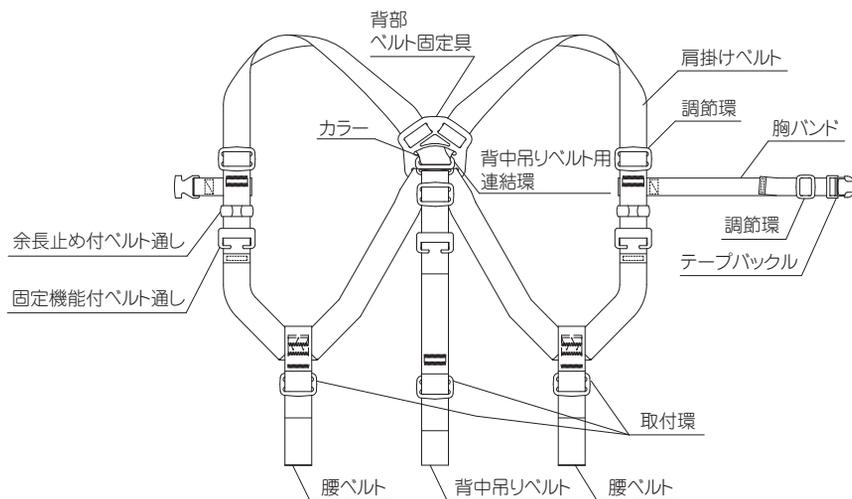
胴・作業ベルト用サスペンダーの使用状態および用途は次の通りです。

使用状態	用途
	本品は、作業ベルトなどに取り付けた工具類や腰袋が重くなった場合に、作業ベルトなどが腰骨の位置からずり落ちるのを防止するためのものです。

⊘ 本品は墜落制止用器具としては使用できません。

4. 構造および各部のなまえ

胴・作業ベルト用サスペンダーの全体図



※取付け可能なベルト幅は、背中吊りベルト：150mmまで、腰ベルト：120mmまでです。



購入後は取扱説明書を読んで、構成部品がそろっていること、異常がないことをご確認ください。

構成部品に不足や異常があった場合は、巻末の「お客様相談窓口」へご連絡ください。

5. 使 い 方

作業ベルトなどの取付方法

サポータベルトをご使用の場合

- (1) 背中吊りベルトと腰ベルトの端部を取付環から抜き、輪状部を開きます。
(3本とも)



サポータベルトを使用しない場合は、作業ベルトに直接本品を取り付けます。
(p.7参照)



- (2) 背中吊りベルトと腰ベルトをサポータベルトの身体と接する面側から回します。



背中吊りベルトは、サポータベルトの真ん中に取り付けてください。



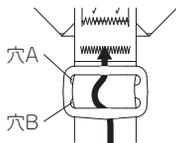
腰ベルトは、ベルト押えの内側に取り付けてください。



腰ベルトは、作業ベルトの下側を通してください。



- (3) ベルトを取付環の穴B、次に穴Aの順で、下から上へ通します。
(3本とも)



- (4) サポータベルトの幅に合わせて輪状部を締めます。
ベルトを折り返し、取付環の穴Bに上から下へ通します。
(3本とも)



(5) ベルトを整えます。

(取付完了)



作業ベルトのみの場合



胴ベルト型墜落制止用器具に取り付ける場合は、ショックアブソーバなどランヤードを巻き込まないでください。



肩掛けベルト・背中吊りベルトの長さ調節

(1) ベルトを固定機能付ベルト通しのバーから外し、ベルトを引っ張って緩みがないように長さを調節します。



(2) 固定機能付ベルト通しのバーにベルトを掛けて、留めます。



(3) ベルトの余長部分が多い場合は、ベルトを折り返し、余長止め付ベルト通しで留めます。

※背中吊りベルトには余長止め付ベルト通しは付いていません。



装着方法



(1) 肩掛けベルトに腕を通します。



(2) 胸バンドをテープバックルで連結します。



(3) 作業ベルトなどを締めます。



(4) 作業ベルトなどが腰骨の位置にくるように肩掛けベルトの長さを調節します。

(ベルト長さの調節方法はp.7参照)



(5) 固定機能付ベルト通しのバーでベルトを留めます。余長部分が長い場合は折り返して、余長止め付ベルト通しで留めます。



(6) 胸バンドの長さを調節します。



(7) 緩みなく確実に装着できていることを確認します。

(装着完了)

❗ 作業ベルトなどのバックルの操作方法については、作業ベルトなどの取扱説明書をご参照ください。

❗ 背部ベルト固定具が肩甲骨辺りにない場合は、背部ベルト固定具の位置を調整してください。

固定機能付ベルト通しの使い方

- (1) ベルトの幅方向を折りたたむようにして、固定機能付ベルト通しのバーの中央からベルトを外します。



- (2) ベルトの長さを調節した後、ベルトを固定機能付ベルト通しの片方のバーに掛けます。



- (3) ベルトの幅方向を折りたたむようにして、固定機能付ベルト通しの両方のバーに掛け、ベルトを整えます。



ベルトの余長部が長い場合

- (4) 余長部分を折り返し、余長止め付ベルト通しで留めます。



6. 点検と廃棄の基準

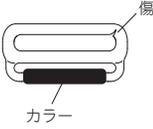
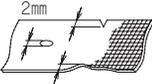
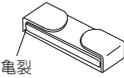
本品は消耗品であり、使用しているうちに摩耗などによって性能が低下します。したがって、点検において1項目でも廃棄基準に該当するものは、機能不良や強度不足になりますので新品と取り替えてください。

始業点検：使用する作業者が作業前に毎回行ってください。

点検後、地上で本品を装着し、異常がないことを確認してください。

定期点検：使用する作業者もしくは管理者・責任者が1カ月ごとに行ってください。

異常時点検：作業中に、本品に異常を感じたら直ちに作業を中止し、再点検を行ってください。

点検箇所・項目	点検方法と廃棄基準	始業点検	定期点検
背中吊りベルト用連結環	 <p>目視でわかる程度の大きな変形があるもの。</p> <p>深さ1mm以上の傷や摩滅があるもの。</p> <p>全体に赤錆または著しい腐食が発生しているもの。</p> <p>カラーが破損または脱落し、連結環の動きがスムーズでないもの。</p>	○	○
ベルト	 <p>耳または幅の中に2mm以上の損傷・焼損・擦り切れがあるもの。</p> <p>薬品が付着したもの。</p> <p>薬品によって変色・溶解箇所があるもの。</p> <p>塗料が著しく付着して硬化しているもの。</p>	○	○
縫製部	<p>縫製部に緩みやほつれあるものや縫糸が摩耗したり1個所以上切断しているもの。</p>	○	○
ベルト通し調節環取付環	 <p>1mm以上摩耗しているもの。</p> <p>変形や亀裂があるもの。</p> <p>脱落しているもの。</p> <p>ベルト長さの調節または固定が困難なもの。</p>	○	○
背部ベルト固定具取付部	 <p>ベルトの耳に2mm以上の傷・擦り切れがあるもの。</p> <p>ベルト固定具が破損または脱落し、ベルトに連結環が固定できないもの。</p>	○	○
テープバックル	 <p>変形などによって連結できないものや脱落しているもの。</p>	○	○

廃棄について：金属部品と合成繊維部品（またはプラスチック）は分別して廃棄処理してください。

7. 交換のめやす(耐用期間)

使用頻度、使用環境や保管方法などによって異なりますが、使用開始年月から3年をめやすとして交換してください。ただし、耐用期間内であっても「6. 点検と廃棄の基準」に従って点検を必ず実施し、廃棄基準に該当するものは使用しないで、新品と取り替えてください。

8. 保管・手入れのしかた

- (1) 本品は次のような場所で保管してください。
 - ア)直射日光が当たらない所。
 - イ)風通しがよく、湿気が少ない所。
 - ウ)火気・放熱体などが近くにない所。
 - エ)腐食性物質と同室でない所。
 - オ)塵埃の少ない所。
 - カ)ねずみなど小動物が入らない所。
 - キ)その他、機能・強度に悪影響を及ぼさない所。
- (2) 高温（50℃以上）となる場所に長時間保管しないでください。
- (3) 物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。
- (4) ベルトに泥・ほこり・油が付着している場合は、ぬるま湯で洗い、乾いた布で拭き取った後、日陰で自然乾燥させてください。

9. お客様相談窓口

この取扱説明書の内容やその他製品に関するご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電工株式会社

URL=<https://www.fujii-denko.co.jp/>

本 社 営 業 部	〒679-0295 兵庫県加東市上海野1573番地2	TEL(0795)48-3851	FAX(0795)48-3409
東北地区	仙台営業所 〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目9番5号 五輪ビル	TEL(022)256-7001	FAX(022)295-7423
関東地区	東京支社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目7番2号 長坂ビル	TEL(03)5821-2241	FAX(03)5821-2170
中部地区	名古屋営業所 〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目29番19号 ヤスイビル	TEL(052)211-7781	FAX(052)211-7782
関西地区	大阪営業所 〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目8番13号 林ポタンビル	TEL(06)6882-3355	FAX(06)6242-2170
九州地区	福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目8番27号 博多駅東パネスビル	TEL(092)413-6110	FAX(092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区については、本社営業部のご相談窓口にお問い合わせください。

本製品は日本の法令または規格等に基づいた仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート及びアフターサービス等を行っておりませんので予めご了承ください。

最新設備を備えた藤井電工総合試験所



屋外試験鉄塔群



屋内試験鉄塔



社(やしろ)工場

 藤井電工株式会社